

機械器具 6 呼吸補助器
高度管理医療機器 高頻度人工呼吸器 15783000

特定保守管理医療機器 **メラ高頻度ジェットベンチレータ JP-1の付属品**
(ジェットTピース・ジェット針・ジェットチューブ・気道内圧コネクタ(チューブ付))

再使用禁止

【警告】

1. 本品を他の製品と接続する場合は、接続部が確実に接続されていること、閉塞やリークなどが生じていないことを、接続時及び使用時に確認すること。[閉塞やリークにより、呼吸に障害が生じるおそれがある]
2. 人工呼吸器と併用する場合は、換気量及び気道内圧を確認すること。[人工呼吸器で設定した以上のガスが送気されるため、呼吸に障害が生じるおそれがある]

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止。再滅菌禁止。
2. ベンチレータ動作中、送気回路の大気開放口を閉じないこと。[過剰圧力が患者肺に加わり、肺が損傷するおそれがある]
3. 併用禁忌
可燃性の麻酔ガスを使用しないこと。
[発火の危険性がある]

【形状・構造及び原理等】

機能



本品は、メラ高頻度ジェットベンチレータ JP-1の付属品である送気回路で、ベンチレータ本体部のアウトレットから患者にガスを送気するための回路で、気道内圧を検出する回路を含む。

** 形状

構造・構成ユニット

本品は、以下の部品から構成されていて、全部品で構成された送気回路又は部品単品で流通するものである。

	<p>1. ジェットTピース 患者端が15/22mm 雌・雄同軸円錐接合。</p>
	<p>2. ジェット針 ジェットチューブ接続口と加湿口があり、ガスと加湿水を針先より患者に送る。</p>
	<p>3. ジェットチューブ 本体から患者へガスを送気する為のチューブ。</p>

	<p>4. 気道内圧コネクタ 付属の気道内圧チューブ(下図)によって気道内圧コネクタからベンチレータ本体部へ気道内圧を伝える。</p>
	

【使用目的又は効果】

関連注意

本品は、メラ高頻度ジェットベンチレータ JP-1の付属品なので、この付属品に関する部分のみを掲載している。詳細は、メラ高頻度ジェットベンチレータ JP-1の添付文書を参照すること。

本品は高頻度ジェットベンチレータであり、手術室やICUにおいて、小換気量、高頻度のジェット流によって、気道内圧の上昇を抑えながら呼吸管理を達成できる。

【使用方法等】

組立方法

1. ジェットTピースにジェット針を接続する。
2. ジェット針にジェットチューブを接続する。
3. ジェットTピースに気道内圧コネクタを接続する。
4. 気道内圧コネクタに付属の気道内圧チューブを接続する。
5. ジェットチューブを本体アウトレットに接続し、気道内圧チューブを本体気道内圧接続口に接続する。
6. 必要に応じてジェット針の加湿口に精製水又は生理食塩水が充填された点滴セットを接続する。

** 組み立て完了型



取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用上の注意】

** 重要な基本的注意

1. 気道内圧チューブに水滴が流入しないように、チューブの差込口が常に上になるように設置すること。
- * * 2. 気道内圧チューブに水滴が見られたときは、速やかに取り除くこと。[水滴でチューブ内が閉塞し、アラームが誤作動したり、適正な換気が維持されない等のおそれがある]
- * * 3. ジェットチューブ内に、水分の結露、異物が見られたときは、速やかに取り除くこと。[患者に適正な換気が行われない可能性がある]
4. 必要に応じてバクテリアフィルタを装着すること。[患者由来の呼気によるその場の環境汚染の防止]
5. 過度の加湿を行わないこと。[肺水腫になる危険性がある]
6. チューブの屈曲や亀裂、コネクタ類の破損、各接続部の緩みなど異常がないこと。
- * * 7. 他の医療機器と組合わせて使用する際は、安全確認を行ってから使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

** 保管の条件

1. 周囲温度：0～50℃
2. 相対湿度：30～85%
3. 水のかからない場所に保管すること。
4. 気圧・温度・湿度・風通し・日光・ほこり・塩分・イオウ分等を含んだ空気等により悪影響の生ずるおそれのないこと。
5. 傾斜・振動・衝撃等(運搬時を含む)から影響を受けないこと。
6. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所は避けること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者
泉工医科工業株式会社
埼玉県春日部市浜川戸 2-11-1

お問い合わせ先
泉工医科工業株式会社 商品企画
TEL 03-3812-3254 FAX 03-3815-7011